



2018年5月1日発行
1916年5月1日創刊
発行 / 小川 健一郎
編集 / 大阪 YMCA 広報室
〒550-0001
大阪市西区土佐堀 1-5-6
Tel 06-6441-0894
Fax 06-6445-0297
URL: <http://www.osakaymca.or.jp>

YMCA 大阪青年

5

「ポジティブネット」 私たちが創るつながり

「ポジティブネット」、それは互いの存在や個性を認め合い、高め合うことのできる、善意や前向きな気持ちによってつながるネットワークです。大阪YMCAの事業の中で「ポジティブネット」が実現されている様子や、これから「ポジティブネット」を実現するためにどのように展開していきたくかを、4人の方に語っていただきました。



う の みつひろ

宇笠 充洋 (ウエルネス事業部責任者)

スキーキャンプ中、YMCAのバスケットボールクラスと他団体のミニバスケットボールクラスの両方に所属しているお友だちに、「YMCAのバスケットと〇〇のミニバスケットはどう違うの?」と聞くと、「YMCAはみんなやさしいねん」と教えてくれました。プールクラスの更衣室では、小学生のお友だちが幼児クラスのお友だちの着替えやシャワーを自ら手伝ってくれる姿があります。サッカークラスではリーダーがラインを引いていると、「ありがとうございます」と感謝の気持ちを伝えたり、相手チームのお友だちを倒してしまうとファールでなくてもプレーを途中でやめ、「大丈夫?」「ごめんなさい」と声をかけたりする場面があります。

ウエルネス事業部では、今年度も全てのクラスやキャンプ場において、「みんなが楽しめて気持ち良く過ごせる時間を創り出すにはどうしたらいいか?」をクラスに参加しているお友だち、リーダー、一人ひとりが考え、行動に移すことを大切に取り組みます。

すず き

鈴木 えみ (留学生事業グループ長)

10年前に大阪YMCA学院日本語学科を卒業した卒業生のFacebookメッセージをご紹介します。

「週末は、マカオと香港での大阪YMCA日本

語学校の留学説明会の手伝いに行きました。こうやって学校を説明するお手伝いをして10年目になったと気付きました。その間、私の説明を聞いて留学し、母国に戻った後も覚えてくださっている学生がいることは、嬉しかったです。YMCAの日本語学校の先生とスタッフ達が、真の教育者として働いていらっしゃることを尊敬しています。これからも、授業で教えていただいたことを少しずつでも社会にお返ししていければと思います。」

「ポジティブネット」という言葉は新しい言葉ではありますが、大阪YMCAの学び舎でYMCAを体感した人たちの中に確実に、そして世界中に広がっていることを再認識させてもらったメッセージでした。

やま ち ひろのぶ

山地 弘伸 (こども園事業部責任者)

4月より、YMCAかわにし保育園が小規模保育事業として認可保育園となり、松尾台・しろがね両こども園と合わせて約550名の0~5歳児の子どもたちとともに新年度がスタートしました。こども園では、これまで地域の幼児教育力向上を願い、様々な活動を通して、多くの地域ボランティア、保護者、行政の方々との交わりを深めてきました。今後も、乳・幼児教育・保育の重要性を再認識し、幼保一体化のバランスのとれたカリキュラムを確立し、保育の質向上をより目指します。

そして、このブランディング推進を機会に、卒

園児(7歳~48歳)と保護者を中心とした同窓会の活性化、ボランティアのグループ醸成を行い、新たな笑顔と歓声に溢れる「つながり」を創り出していきます。特に今年度は、「ミャンマー教育支援プログラム」や「地域子育て支援プログラム」を基盤とした活動をより推進する中で、YMCAに集う一人ひとりが体験から生まれる発見や学び、出会いによってともに「幸せ」になっていくことを願っています。

すぎ むら とおる

杉村 徹 (社会福祉事業部責任者)

社会福祉事業は、0歳から100歳を超える人々への事業を行っています。保育園の園児たちは、まっさらの心で、瞳を輝かせて、今この瞬間も、目に見えないものまでをも見つけ、吸収しています。高齢者事業では、参加者が介護サービスやストックウォーク、ヨガ教室などを通して、人や地域とつながり、今この時間を大切に過ごしています。

YMCAに集う人々が地域とつながり、よくなっていくために、サンホームでは「みんなで唄おう会」をきっかけとして、今年度からボランティアポイント制度を始めました。また、放課後の子どもの居場所として「YMCA子ども広場」を開設し、とさぼり保育園でも、安心して遊び相談できる場所として、子育て支援センター「ぶどうの木」を受託運営しています。これからも、一人ひとりの心に寄り添う働きを進めて参ります。

■大阪YMCAの使命

大阪YMCAは、聖書に示されたイエス・キリストの愛と奉仕の生き方に学び、YMCAの世界的な運動に連なり、希望を持って、共に生きる社会の実現をめざします。

- ボランティア精神をはぐくみ、互いに協力し、明るくあたたかい地域社会の形成に努めます。
- すべての世代の人びとが、出会いと生きがいを見いだすための、生涯にわたる気づきと学びの活動を展開します。

- 未来を築く力強い子どもたちを、家庭・地域社会と共に育てます。
- 生命を尊重する心を養い、自然と人間が調和する働きをすすめます。
- 世界の人びとと力を合わせ、環境・人権・貧困の課題に取り組み平和で公正な世界をめざします。

ポジティブYフォトコンテスト

日本のYMCAで推進しているブランディングにもっと気軽に参加して、YMCAの魅力をみんなで再発見したいとの思いから、大阪YMCAでは『みつかる。つながる。よくなっていく。』をテーマにフォトコンテスト(写真部門・動画部門)を開催しました。YMCAでの日頃の活動の中で出会う素敵な瞬間を撮影した作品が、多数応募されました。その中から受賞された作品とメッセージをご紹介します。

フォト部門

最優秀賞

「おともだちといっしょってさいこー！」

■ 切通 菜摘さん (野外キャンプ事業スタッフ)

【最優秀賞】



1. どのような状況、また、どのような思いでこの作品を撮影されましたか。

この写真は野外活動クラスの3月例会での一コマです。1年間グループで活動し、お友だちやリーダーとの距離もぐんと近くなりました。お友だちやリーダーと遊んでいる時は、みんないい顔をしています。YMCA野外活動の魅力の一つ、仲間がいることの楽しさや喜びを、写真を見た方にも感じていただける1枚になれば嬉しいです。

2. YMCAのどのような活動、どのような時に「みつかる。つながる。よくなっていく。」を感じますか。

人と出会い、つながることがYMCAです。野外活動やキャンプも多くの人と出会い、つながる中で共に成長していくことを感じます。それが私の、「みつかる。つながる。よくなっていく。」を感じる時です。

みつかる賞

「マジで海越え!!!」

ベストスマイル賞

「Camp is FUN!!!」

■ 菅田 斉さん (YMCA阿南国際海洋センター事業長)

【みつかる賞】



1. どのような状況、また、どのような思いでこの作品を撮影されましたか。

みつかる賞：少々波と風の強い日、ジャンボカヌーも相当波によって揺れていました。その波を力強く、また笑顔いっぱい漕ぎ進める子どもたちの頑張る姿です。ジャンボカヌーの船首がこれだけ持ち上がるのは、なかなかの波です。それをあきらめることなく漕ぎ切ったこと、本当によくがんばったと思います!!!

ベストスマイル賞：海の活動から帰ってきたところの子どもたちです。「楽しかった人は、おもしろいからジャンプをしてみよう!!」と声をかけての「ハイチーズ!」の瞬間です。

2. YMCAのどのような活動、どのような時に「みつかる。つながる。よくなっていく。」を感じますか。

船の中は、いつもわいわいがやがやにぎわっています。でも、波風が強いと簡単にはいきません。そんな中、次第に集中してくると、艇の雰囲気も子どもたちの表情も変わってきます。そして乗り越えたときの喜びや安堵の表情、「やったぞ」という達成感に満ちた笑顔がこぼれてきます。キャンプ場は、そのような子どもたちの気持ちや感情が毎日あふれています。その一つ一つから「よくなっていく」成長を感じます。

つながる賞

「仲間。」

■ 本間 裕加里さん (徳島地域センター スタッフ)

【ベストスマイル賞】



【つながる賞】



1. どのような状況、また、どのような思いでこの作品を撮影されましたか。

キャンプを共に過ごし、仲を深めたお友だちが朝日を眺める1枚です。友情の瞬間に感動し、シャッターを切りました。

2. YMCAのどのような活動、どのような時に「みつかる。つながる。よくなっていく。」を感じますか。

自分と向き合い、お友だちと向き合い、たくさんの葛藤もありながら共に過ごす。キャンプには、人と人との出会いを通して「みつかる。つながる。よくなっていく。」がギュッと詰まっていると感じます。

よくなっていく賞

「みんながいるから楽しい!」

■ 青野 さくらさん (南事業スタッフ)

【よくなっていく賞】



1. どのような状況、また、どのような思いでこの作品を撮影されましたか。

試合終了後、初めて参加したお友だちもたくさんいたこともあって勝つことはできなかったけれど、「試合楽しかった!みんなと仲良くなれた!」と仲間と喜び合う姿を撮った1枚です。

2. YMCAのどのような活動、どのような時に「みつかる。つながる。よくなっていく。」を感じますか。

バスケットボールクラスで、うまくいったこと、うまくいかなかったこと、全ての感情を共にできる仲間がみつきり、自分の居場所を感じることができる瞬間に感じます。

動画部門

最優秀賞

「みつかる。つながる。よくなっていく。」

■ グローバル事業推進室

動画URL <https://youtu.be/pSduGcifE5I>



1. どのような思いでこの作品を撮影されましたか。

YMCAの心とポジティブでハッピーな気持ちが伝わるような動画を心がけて作りました。

2. YMCAのどのような活動、どのような時に「みつかる。つながる。よくなっていく。」を感じますか。

グローバル事業推進室では、様々なコースとつながるプログラムを行なっています。そのうちの一つに、様々な国から受け入れたインターンたちがファシリテーター(良いワークショップを作る進行役)となり、100人以上のコースと共に世界で起きている問題について学ぶグローバルユースカンファレンス(GYC)があります。17~24歳の参加者たちが新しい考え方、知識や友達が見つかるこのカンファレンスで、未来がどうすればよくなっていくかを議論しているのを見ているときに、最も「みつかる。つながる。よくなっていく。」を感じます。

みつかる賞

「Celebrate our differences」

■ 中島 健児さん (大阪YMCA国際専門学校国際学科スタッフ)

動画URL <https://youtu.be/pl5XgKhB3gg>



1. どのような状況、また、どのような思いでこの作品を撮影されましたか。

大阪YMCAインターナショナルハイスクール(IHS)は、日本国内だけでなく海外にルーツを持つ生徒が多く、「We Celebrate Our Differences(お互いの「違うこと」を大事に)」という価値観を大切にしています。IHSでの学校生活を通じて出会うこと・体験できること・得られることを、「みつかる。つながる。よくなっていく」YMCAのブランドメッセージに乗せて、在校生の声をもとに制作しました。

2. YMCAのどのような活動、どのような時に「みつかる。つながる。よくなっていく。」を感じますか。

グローバルユースカンファレンス(GYC)をはじめとするグローバル交流プログラムにおいて、日本国内・世界各国からの参加者が、年齢・国籍・性別・学校・職種の違いを超えて集まり、心を高く上げて一緒に築き上げる中で、一人ひとりが「みつかる。つながる。よくなっていく。」体験を体じゅうで味わっているように感じます。

つながる賞

「素晴らしい未来へ」

■ 畠中 あつ子さん (大阪YMCA学院日本語学科スタッフ)

動画URL <https://youtu.be/zlZCA7JCrFM>



大阪YMCA学院日本語学科総合コース卒業式の一コマです。少しでも学生たちの記念になればと思い、応募させていただきました。学生は世界中からYMCAをみつけて、たくさんの仲間とつながって、未来をよくしていく。私もYMCAをみつけて、たくさんの仲間とつながって、毎日がよくなっていく。いつまでも、つながってほしい。いつまでも、つながってほしい。出逢った奇跡。楽しかった時間を心に刻んで、新しい未来に向かって歩いていこう。心からありがとう、心から愛してる!!

よくなっていく賞

「sunrise!!@Mt.Fuji 【富士登山キャンプ2016】」

■ 切通 菜摘さん (野外キャンプ事業スタッフ)

動画URL <https://youtu.be/yAhwspaeGh4>



どのような状況、また、どのような思いでこの作品を撮影されましたか。

夏休みに実施した富士登山キャンプでの一コマです。日の出前の真っ暗な道を歩き、夜明けとともに明るくなり始める幻想的な時間。日の出の瞬間は足を止め、みんなで日の出を見守りました。雲の下から顔を出す太陽、光り輝く雲海。誰もが一瞬息をのむほどの感動の瞬間でした。仲間と共にする感動はより大きなものとなります。心を照らしてくれる素晴らしい思い出となりました。

ブランディング・イースター・ウォークラリーを開催!

4月1日より全国YMCAで公開された新ブランドを皆さまに親しんでいただくためにウォークラリーを実施し、大阪YMCAの参加メンバーの方、そのファミリー、教職員など総勢約80名が参加しました。



参加者の皆さんは新ブランドのTシャツを着用したり、バッジを身に付け、土佐堀会館周辺のポイント(YMCA創設に関わった方々ゆかりの歴史的な場所や近代建築の名所、靱公園など)を巡っていただきました。途中の公園には新ブランドのスポットも設置し、満開の桜をバックに参加者の素敵な笑顔を写真に収めていました。

その他、イースターエッグ作り、どなたも楽しめるニュースポーツなども体験していただき、子どもからファミリー、ご高齢の方まで、和やかなイースターの午後となりました。

総主事就退任式

大阪YMCAでは、3月31日をもって末岡祥弘が総主事を退任し、4月1日から小川健一郎が新たに総主事に就任いたしました。

去る3月21日(水・祝)に開催された総主事就退任式では、奥田和弘牧師(学校法人大阪YMCA学院副理事長)の司式のもと、日頃より多大なご指導、ご支援、ご協力をいただいている行政、企業、団体の皆さま、また国内外のYMCA関係者、約260名が参席されました。

多くの皆さまにこれまで前総主事 末岡祥弘をお支えいただきましたこと、また、新総主事 小川健一郎の就任にあたり、大きな励ましをいただきましたことを心より感謝申し上げます。今後も変わらずぬご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



YMCAから社会へ歩みだす (ユースボランティアリーダー活動感謝会)

野外キャンプ事業長 津田 晃男

大阪YMCAでは、社会で活躍できる青年を育むことを目的として、2017年度もYMCAに集う子どもたちや保護者の方々とともに、大学生を中心としたユースボランティアリーダー活動を実施してきました。この一年のユースボランティアリーダーたちの活動に対する感謝と、2017年度でユースボランティアリーダー活動を修了し、社会へ歩みだしてゆく青年たちへの励ましと今までの活動に対する感謝の会が3月21日(水・祝)に開かれました。

ともに活動してきた子どもたちや保護者の方々も含めた多くの祝福の中で、39名の青年たちが末岡祥弘前総主事から感謝の盾を授与され、メッセージをいただきました。日本基督教団奈良高畑教会の藤川義人牧師による奨励にあるように、愛の原動力に支えられた会となりました。



健康コラム

健康のための予防①

土佐堀事業長 のぐち けんたろう
野口 賢太郎

1997年頃に「成人病」から「生活習慣病」と呼び方が変わり、食生活・運動不足・喫煙などの生活習慣を改善することで、病気を予防することの重要性が高まってきました。その後、メタボリックシンドローム予防、ロコモティブシンドローム予防・転倒予防など、健康を保つための様々な言葉や考え方が世の中に広がりました。

ただ長生きするのではなく、身体的な健康はもちろん、精神的にも、また社会的にも健康であること、つまりQOL(生活の質)を維持向上することが大切です。これからの予防は、身体的・精神的・社会的に元気なうちから始めることが重要であり、今後は「フレイル予防」の概念が大きなきポイントになるだろうと考えます。

「フレイル」とは、体がストレスに弱くなっている状態のことを指しますが、早く対処すれば元に戻る可能性があります。高齢者のフレイルはQOLを落とすだけでなく、さまざまな合併症も引き起こす危険があります。

フレイルの基準には、さまざまなものがありますが、判断の基準には下記の5項目があり、3項目以上該当するとフレイル、1または2項目だけの場合にはプレフレイルと判断します。

1. 体重減少:意図しない年間4.5kgまたは5%以上の体重減少
2. 疲れやすい:何をするのも面倒だと週に3-4日以上感じる
3. 歩行速度の低下
4. 握力の低下
5. 身体活動量の低下

フレイルには、体重減少や筋力低下などの身体的な変化だけでなく、気力の低下などの精神的な変化や社会的なものも含まれます。

まだ大丈夫と思っていると手遅れになるかもしれません。大阪YMCAでは、身体的・精神的・社会的に元気になるプログラムをたくさん実施しています。さあ、YMCAで何かをみつけましょう!次回も健康のための予防「フレイル予防」について取り上げます。



コミュニティで防災に取り組む 防災セミナー実施

土佐堀YMCAセミナー委員会 なかはら しげたか
仲原 成岳



3月24日(土)、土佐堀会館で防災セミナーが開催されました。コミュニティ(地域)で取り組む防災・減災をテーマに、「災害時への対応力を育む〜『被害0』のまちを目指して〜」と題して、株式会社シャカリハ代表取締役の三浦浩史さんからお話いただきました。東北で三浦さんご自身が住民として、また専門家として日頃から防災の取り組みや意識づけの

活動を行っていることを伺い、災害が起きたその瞬間に、どのように行動すればよいか決断する力を日常の中で鍛える重要性を学びました。梅田で地震発生を想定したラジオドラマを通して、災害時の行動を1つずつ考える中で、「『なんとかなる』はなんともならない!」、つまり、具体的な対応を考えなければ動けないということを実感できました。また、防災食の試食や車いすの垂直避難方法を実際に行い、女性だけでも車いすの上げ下ろしができることを体験し、世代や立場を越えて各々のコミュニティ(地域)で災害への対応力を創り出していかねばならないと感じました。

大阪YMCA創立記念礼拝のお知らせ

日 時...2018年6月2日(土)

場 所...大阪YMCA会館

奨 励...山口 恒牧師(日本基督教団浪花教会)

大阪YMCA早天祈祷会

■第301回 日 時...2018年5月18日(金) 7:30~8:30

証 師...小川 健一郎 さん
(大阪YMCA 総主事)

場 所...大阪YMCA会館 10階 チャペル

移転のお知らせ

YMCAかわにし保育園とYMCAあわぎ保育園が、2018年4月より新たな施設へ移転しましたので、お知らせいたします。

■YMCAかわにし保育園

住 所 / 〒666-0015 兵庫県川西市小花1-4-11-101
電 話 / 072-758-4678 FAX / 072-758-4792
メールアドレス / kawanishi@osakaymca.org

■YMCAあわぎ保育園

住 所 / 〒550-0002 大阪市西区江戸堀3-8-16
電 話 / 06-6479-0701 FAX / 06-6479-0701
メールアドレス / awaza-hoikuen@osakaymca.org

会員・賛助会員としてのご協力に感謝申し上げます。

2018年3月度報告・敬称略

【新規会員】

浅井 恵莉奈
朝山 夏光
秋山 万季
出原 廣太
太田 理子
小野 優芽
北島 由梨
小林 咲良
小林 一則
坂口 拓昂
末岡 成夫
平井 明花
平松 凛太
満川 由理奈
山崎 充輝

【継続会員】

石津 雅人
市田 恒夫
伊藤 圭介
伊藤 正尚
稲葉 匠
井上 都志弘
今井 利子

岩井 鉦治郎

植下 五郎
宇野 義男
大村 肇
小笠原 純
岡本 剛介
岡本 麻裕
奥田 和弘
尾和 信孝
角地 正直
加計 純子
鍛治田 雅弘
川俣 茂
桑原 芽吹
桑原 頼子
坂本 一眞
笹部 航一
佐藤 祐規子
小路 修
杉浦 眞喜子
清木 育
滝口 敏行
竹花 マリ子
田中 八重子
谷川 寛

谷口 文香

田原 久美子
津野 忠昭
寺川 克
土肥 奈津貴
中井 里佳子
中芝 永次
中筋 祐喜
中村 茂高
中村 隆幸
梨子 田次朗
西口 果歩
野方 大輔
橋上 夕貴
長谷川 洋一
東谷 香穂
廣田 康人
藤井 大祐
藤原 正巳
ベンジャミンミツダ
何 早林
牧口 望
松浦 孝次
松元 実緒
松山 隆義

真鍋 佑介

三浦 直之
三本 香
森本 榮三
文字 文男
保田 圭子
矢田 翔梧
八束 浩一
山田 孝彦
山中 秀男
山根 さゆり
吉岡 香代子
吉田 晴津子
吉見 優里
若木 正実
和田 佐保

【継続賛助会員】

株式会社甲南保険センター
有限会社
サイテックエンタープライズ
清風商事株式会社
日東化成株式会社
パナソニック株式会社

大阪YMCAのホームページで
その他の情報をご覧ください。

